



飯能ロータリークラブ会報

桜の中央公園と天覧山

© photo by Hiroyuki Maejima

“世界へのプレゼントになろう”

RI会長 K.R.ラビンドラン

2570地区ガバナー 高柳 育行

第3グループ
ガバナー補佐 吉田 譲二

「ロータリーの心を実践しよう」

第2690例会 2016. 3. 9

—— 識字率向上月間 ——

天候 雨 (NO. 52-37)

会長 間邊元幸 幹事 土屋 崇

例会日 水曜日(12:30~13:30) 当番 石井君、市川君

例会場: ホテル・ヘリテージ飯能sta.

☎(042)975-1313 〒357-0038 飯能市仲町11-21

事務局: 飯能商工会議所内 〒357-0032 飯能市本町1-7

☎(042)974-3111(代) FAX (042)973-1662

http://www.hanno-rc.org/

E-mail: hannorc@hanno.jp

- ・点鐘 間邊会長
- ・ソング 我等の生業
- ・卓話 大橋はるか様

【会長報告】

6日は二十四節季「啓蟄」、いよいよ土の中から虫も這い出る季節となりました。G月信3月号「水と衛生」。日本では当たり前ですが、国・地域によっては衛生面でそのままでは生水が飲めません。地区国際奉仕ではタイ国への学校飲料水濾過装置プロジェクトを深谷ノースRCと継承事業として実施予定との事。4日、会長幹事会に出席しました。

【幹事報告】

4/6第11回役員理事会を開催。4/2飯能警察署で交通安全事業、9時半から出発式。関係の方よろしく。会長幹事会の報告ですが次年度役員名簿をRIに提出する際、他のクラブでは入力間違いが若干あったようです。

◎例会変更のお知らせ

◇所沢東RC

- ・4/4(木) 振替4/2・3市民文化フェア
- ・4/21(木) 振替4/19(火)企業訪問
- ・5/5(木) 休会
- ・5/12(木) 振替5/9(月)5クラブ合同例会

◇新所沢RC

- ・3/29(火) 振替4/2・3市民文化フェア
- ・4/12(火) 振替4/10所沢中央と合同観桜会
- ・4/26(火) 例会取消(定款6-1-C)
- ・5/3(火) 例会取消(法定休日)

【委員会報告】

◎親睦活動委員会 坂本君

3/23飯能日高合同夜間例会18時点鐘、ヘリテージ。来週3/16は休会です。

【出席報告】

伊澤出席委員

会員数	当日	前々回修正
全数	対象	出席率
56名	6名	48名
		85.71%
		100%

【M U】

3/4 (第3G) 間邊君、土屋(崇)君

【結婚・誕生日祝】

市川親睦活動委員

◇入会記念日おめでとう

中里(昌)君、柏木君、市川(昭)君

◇結婚記念日おめでとう

加藤君、松下君、川口君、矢島(高)君

服部君、杉田君、吉田(行)君

◇会員誕生日おめでとう

1 大野(康)君、2 小川君、10 橋本君、13 杉田君

15 雨間君、24 柏木君、25 石井君、30 前島君

◇夫人誕生日おめでとう

5 神田(敬)夫人、6 吉島夫人、12 伊澤夫人

13 吉澤夫人、18 土屋(良)夫人

【SAA報告】

◎ニコニコBOX

・大橋副館長様、本日は卓話よろしくお願ひします。 沢辺君、間邊君、和泉君

土屋(崇)君、小川君、吉田(行)君

・地区大会は出席させて頂きませんが、本日が通常例会の出席も結びとなりました。6年と10か月お世話になりました。 塩野君

・結婚記念日祝い有難うございます。

川口君、吉田(行)君、加藤君、松下君

・妻の誕生日祝い有難うございます。

土屋(良)君、吉島君、伊澤君、神田(敬)君、川口君

・93回目の誕生日です。 橋本君

・誕生日祝い有難うございます。

小川君、雨間君、石井君

・入会記念祝い有難うございます。中里(昌)君
・早退 森君、大野(康)君
本日計 67,000 円、累計額 909,041 円。

【卓 話】

講師紹介 沢辺プログラム委員
嶋ヶ谷市(現・川口市)出身、さいたま市在住。
飯能にも住所をお持ちです。浦和明の星高校、
白百合女子大学、大学院に進まれ、児童文学を
専攻。県の図書館専門職として就職、2年前、飯
能に出向。ムーミンに幼い時から興味を持ち
全集を買ったりフィンランドも何度か訪ねら
れています。市立図書館は私が市長の時から
約10年位かけて出来上がりました。運営や職
員訓練等は県からお出で頂いた湯川館長が飯
能の文化的風土を大事にして創ってくれまし
た。県から優秀な人材が2人続いて今の図書
館の運営があるという事です。造詣の深い面
からのお話を頂けると思います。

ムーミンについて

飯能市立図書館 副館長 大橋はるか様

飯能RC様には雑誌スポンサー制度でサポ
ートして頂いており、ご利用されている方も多
く、いつもお世話になっております。

元々飯能が大好きで遊びに来ていたり、ムー
ミンも好きだったので、不思議な偶然に驚い
ています。住み易く、自然もまちも豊かで、い
いところだと実感しています。[映像併用]

作者に「ムーミンとは何ですか」ときいた方
が居て、その時の答えは「人間でも動物でも
なく架空の存在である」との事。童話はフィン
ランド系スウェーデン語で書かれました。作者
トーベ・ヤンソン(以下トーベ)が大勢のフィン
ランド人の中に住む少数派のスウェーデン
系フィンランド人の家庭で育ったという事も
お話に影響しているのではとされています。
トーベ(1914-2001年)の父は彫刻家、母は
デザイナー、画家。自然と共に生きるムーミン
達の姿が多く描かれているのですが、トーベ
も子ども時代を群島地帯で過ごしたり、無人
島に自分で家を建てて、一人もしくはパート
ナーと夏を過ごす等、自然の中で生きる事を
好んだ方でした。自分でボートを引き上げる
事が出来なくなり島での暮らしは無理と思う
まで毎年のように過ごした。水も電気もガス
も無い島で、海の音、風の音を感じながら作
品を書かれていたそうです。マルチな芸術家
で生涯は画家として生き、まちなかにはトー
ベの壁画が残されたホテルや学校等が残って
います。「売上が10年で6倍に伸びたその秘密」
という雑誌記事の中でムーミンキャラクター
ズ社の方が、ただのキャラクタービジネスで
なく、バックグラウンドに芸術家としてのト
ーベの芸術性、思想がしっかりと流れている、
アート性があるところが、サンリオやディ
ズニーにはない強みだと言っています。

ムーミンが生まれたのは第2次世界大戦が
始まった頃。画家トーベが、戦争の怖さ、家族
が離ればなれになってしまう事で明るい色彩の
絵が描けなくなった時に書き始めた。2作目
位までは自然の驚異に脅かされるといった戦
争や恐怖の影が見られる。全9巻。2015年
に出版70周年。フィンランドでも人気で、オペ
ラやバレエになったり、有名陶器ブランド「アラ
ビア」の「ムーミンマグ」、家具、菓子、雑貨等。



テーマパーク、美
術館もある。日本
の平成版アニメが
上映され、人気
が再燃したとの事。
何故こんなに人
気があるのか。
個性的な登場人
物が多い。読むタ
イミング、年令で
どのキャラクター

が好きか、誰に似ているかが違ったりする。
相手を思いながらも、なかなか言えないような
冷たい事も言っている「ちびのミイ」
みたいに今日は言っておけば良かったと思う
日もあったり、いろいろなキャラクターに憧
れたり共感したりしながら読める。「良い人、
悪い人」という一辺倒の人物像ではなく、すぐ
く弱虫の者がもっと弱者を助けたりするよ
うな重層的な登場人物。人生のスパイスにな
るような名言の数々。また、例えば、欠点があ
っても自分は自分でいいのだと思える自己肯定感。
寛容性。さまざまな個性をもつ登場人物がお互
いの欠点を「あいつはあいつで仕方がないだ」
と思いつつ程良い距離感で暮らしているムー
ミン谷の姿が現代において見直される良さ
なのではないか。付き合うとフィンランド人も
そうだが、プライベートに入り込み過ぎず
困った時は助けてくれたりするような心地良
い距離感の関係が描かれる。仲良しのスナフ
キンが旅に出る時、ムーミンは決して束縛し
ないし連絡も取らない。お互い「相手が幸せだ
ったらいいな」と思い合える距離感で付き合
える関係は、SNS等、ギスギスした緊張感のある
人間関係の現代においては心地良い距離感に
思える。また、家族の物語でもある。ムーミン
ママがムーミンに寄せる愛情は危険な時にあ
えて旅をさせるような、放任とも思える、でも
帰って来た時は温かく迎えるような親の愛情。
多様性、家族のあり方等を考えさせてくれる
お話ではないかなと思っ読んでいます。

直行便で9時間半。森と湖の国フィンラ
ンドは日本から一番近いヨーロッパ。7割が森林、
1割が湖と川。上空から緑と青がきれいに映
える。湖は18万個以上。サウナは神聖なもので
出産、治療に使われてきた。日本と同等の面積
に北海道位の人口。情報、森林資源、環境産業
が主産業。大学まで無料。学力調査は常に上位。
子育て支援施設「ネウボラ」。図書館利用率も
高い。精神医療で「オープンダイアログ」が注目。
1917年12月6日独立、来年100周年。じゃが
いも、ライ麦パン、ベリー類、きのこ類が多く
食べられ、じゃがいもは必ずサイドディッシュ
に付く。森の恵みを受けて暮らす人達で、秋に
は市場にきのこやベリーが並び、ジャム等
にして保存、長く暗い冬を過ごす。週末等は湖
や島にあるコテージに行き、静かな時間を過
ごす人が多い。森は無くしてはならない存在。
小さい頃から親に連れられて行き、食べられる
きのこ、枝の切り方、魚の釣り方、火の起こし方
等習い、生きる力を養う。内省の場所でもある。
「自然享受権」私有地であっても自由に入って
ベリー摘みやきのこ狩りをする事が出来る権
利。自然を共有するために自分で考えて行動
するという事が小さい頃から身に付いている。
キャンプサイトや道も税金で整備され、無償
のテーマパークになっています。さらに知り
たい方は図書館に是非いらして下さい。